科目名		英語表現皿 (English Expression III)											
学 年	学和	学 科(コース)			立 数	必修 / 道	選択 授	と業形態	開訊	構時期	総	時間数	
第3学年	第3学年 経営情報学科		履	髲修	1単位	_		講義	育	前期	3	0時間	
担当教	担当教員 【常勤】 》			池田	晶		l						
学習到達目標													
既習の語彙と文法事項を復習しながら、英語プレゼンテーションにおいて必要な英語力の向上につなげる。 (1)プレゼンテーションの基本的な意義を理解し、アウトラインが書ける。 (2)パワーポイントを使って、簡単なプレゼンテーションが出来る。 (3)効果的で印象的なプレゼンテーションを行うために必要な英語表現を習得する。													
到達目標 優 れた (評価項目)		れた到達レベ 目安			好な到達し 目安		最低限の到達レベルの 目安			未到達レベルの 目安			
到達目標①	本的 広い	ゼンテーション な意義を理解 内容でまとま ウトラインが書	し、幅 Jのあ	本的 単で	ゼンテーシ な意義を理 まとまりの ンが書ける	型解し、簡 あるアウト	本的な意 片的では	テーション <i>の</i> 義を理解し あるが趣旨 単なアウト る。	、断 z o o o		義を理		
パワーポイントを使 10分程度の簡単な: 到達目標 ② る。			プレ	プレ 7分程度の簡単なプレゼ			5分程度の短く簡単なプ			パワーポイントを使え ず、簡単なプレゼンテー ションが出来ない。			
英語プレゼンテーで必要な表現を多文の中で活用し、 (3) な文を表現するこ きる。		様な きまざ	t で必要な表現を まざ 語句とともに文		と、適切な の中で活	英語ブレゼンテーション で必要な表現を発音し、 書くことができる。		し、 7	英語プレゼンテーション で必要な表現を発音し、 書くことができない。				
学習•教育到過	達目標		G		J	ABEE基準	1(2)		•				
				達	成度	評価(9	6)	1	ı				
評価 指標と評価割合	面方法	中間試験	学	末· 年末 ^{【験}	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポー フォリ		の他	合計	
総合評価割合		25	:	25		20	30					100	
知識の基本的な【知識・記憶、理解		0		0		0	0						
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】		0		0		0	0						
汎用的技能													
態度·志向性(人間力) 【主体性】						0	0						
総合的な学習経 創造的思考力 【 】	験と												

	関連科目,教科書および補助教材				
関連科目	英語表現 I 、英語表現 II				
教科書	「改訂増補版 リーディングからはじめる英語プレゼンテーション入門」岡田圭子著(アルク)				
補助教材等					

学習上の留意点

【授業態度について】

「教材を持ってこない」、「私語をする」、「携帯電話を使用する」、「居眠りをする」、「飲食する」、「出席したとしても全く授業に参加しない」、といった態度や、配布したプリント類を紛失した場合は、自分だけではなく、周りの学生に悪影響を及ぼすので、大幅な減点対象とします。本の辞書でも電子辞書でも構いませんので、辞書は必ず持参してください。

【家庭学習について】

毎日の積み重ねが大切です。毎回セクションごとに予習課題が出るので、しっかりと準備して授業に臨めるようにしてください。本授業の最大の評価点であるプレゼンをするために、教科書を手にしたときから、何をプレゼンするか、日ごろから考えるようにしておきましょう。

担当教員からのメッセージ

学習到達目標として「英語でプレゼンをする」ということが掲げられていますが、皆さんにとって初めての経験だと思います。 人前で発表する、しかも英語で!というような不安な気持ちでいっぱいなのは、今このメッセージを読んでくれている皆さんの 友だちも同じだと思います。一つ一つ確実に学んで積み重ねていき、自信に繋げていってください。最後に、英語の授業は 「グローバル化」ということと関連付けられることが多いですが、英語だけを大切にするのではなくて、英語以外にも世界には 数え切れないほどの言葉があって、それぞれとても魅力的でかけがえのないものである、ということも忘れないでください。英 語の勉強を通して、自分なりにグローバル化とは何か、ということについて考えてみてください。

授 業 の 明 細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)						
1	導入:概要説明	・授業の目的・評価基準・評価方法、教材の確認	Unit1の予習						
2	Unit 1 Whatis a presentation?	私たちはなぜプレゼンを行うのか、そしてプレゼンにはどのような種類があるかを理解した上で自己紹介をしShow and Tellというプレゼンを行う。	Unit1の復習 Unit2の予習						
3	Unit 2 Cellphones: Are they dangerous?	携帯電話が健康に与える影響について書かれた 英文を読んで情報を整理し、プレゼン用にアウ トラインを作成する。	Unit2の復習 Unit3の予習						
4	Unit 3 Climate Change: Global Warming	気候変動と地球温暖化について書かれた英文を 読んで情報を整理し、プレゼン用にアウトライ ンを作成する。	Unit3の復習 Unit4の予習						
5	Unit 4 Food Issues: Lunch matters at school	世界のいくつかの国の学校給食事情について書 かれた英文を読んで情報を整理し、プレゼン用 にアウトラインを作成する。	Unit4の復習 Unit5の予習						
7	Unit 5 Making an effective presentation	プレゼン用原稿の基本構成と原稿で用いるべき 表現を知り、Unit2-4に基づいて原稿を作成 し、発表を効果的なものにするための技術を知 り、原稿の一部で実践練習。	プレゼンの内容課題						
8	プレゼンテーションの題材決定	グループを作り、先輩たちの実例を参考にしな がら、プレゼン内容を決定する。	Unit6の予習 試験の準備						
9									
10	Unit6 Pareparing Visual Aids	プレゼンテーションにおいて資格資料となるポスターとpptスライドショーの作り方を学び、	発表課題						
12		自分の発表用に実際に資料を作成する。							
13	Unit7 Giving a presentation.	プレゼンテーションを行う際と、発表を聞くと きに注意すべき点を知った上で、実際に発表を	発表課題の最終確認						
14	Zc. G.T.ing a prosonication.	する。発表を評価する方法も学び、自分自身の 発表とクラスメートの発表を互いに評価する。	発表練習						
	;								
15	答案返却・テストの反省 授業アンケート	試験の解説と授業アンケート。							
	総授	30時間							